

日本の農林水産物輸出額の決定要因  
—操作変数法による重力方程式の推計—

The Determinants of Japan's Agricultural Exports:  
The Estimation of Gravity Equations by the Instrumental Variable Method

明治大学 作山 巧

報告要旨

本稿では、日本政府が農林水産物輸出額の拡大要因とする海外の所得向上と訪日外国人の増加について、農林水産物輸出額を従属変数、1人当たりGDPと訪日外国人数等を独立変数とする重力方程式の推計により、その妥当性を検証した。農林水産物輸出額と訪日外国人数の間には、逆の因果性や交絡変数による内生性が懸念されるため、日本への直行便数を訪日外国人数の操作変数として推計した結果、1人当たりGDPと訪日外国人数の係数は統計的に有意でなく、政府の主張は支持されなかった。他方で、他の独立変数である名目為替レートと相対価格の係数は統計的に有意で、最近の農林水産物輸出額の拡大は、円安とデフレに起因することが分かった。

キーワード

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略, グラビティ・モデル, 訪日外国人, インバウンド, ポワソン疑似最尤法(PPML)